

ZUNDARE

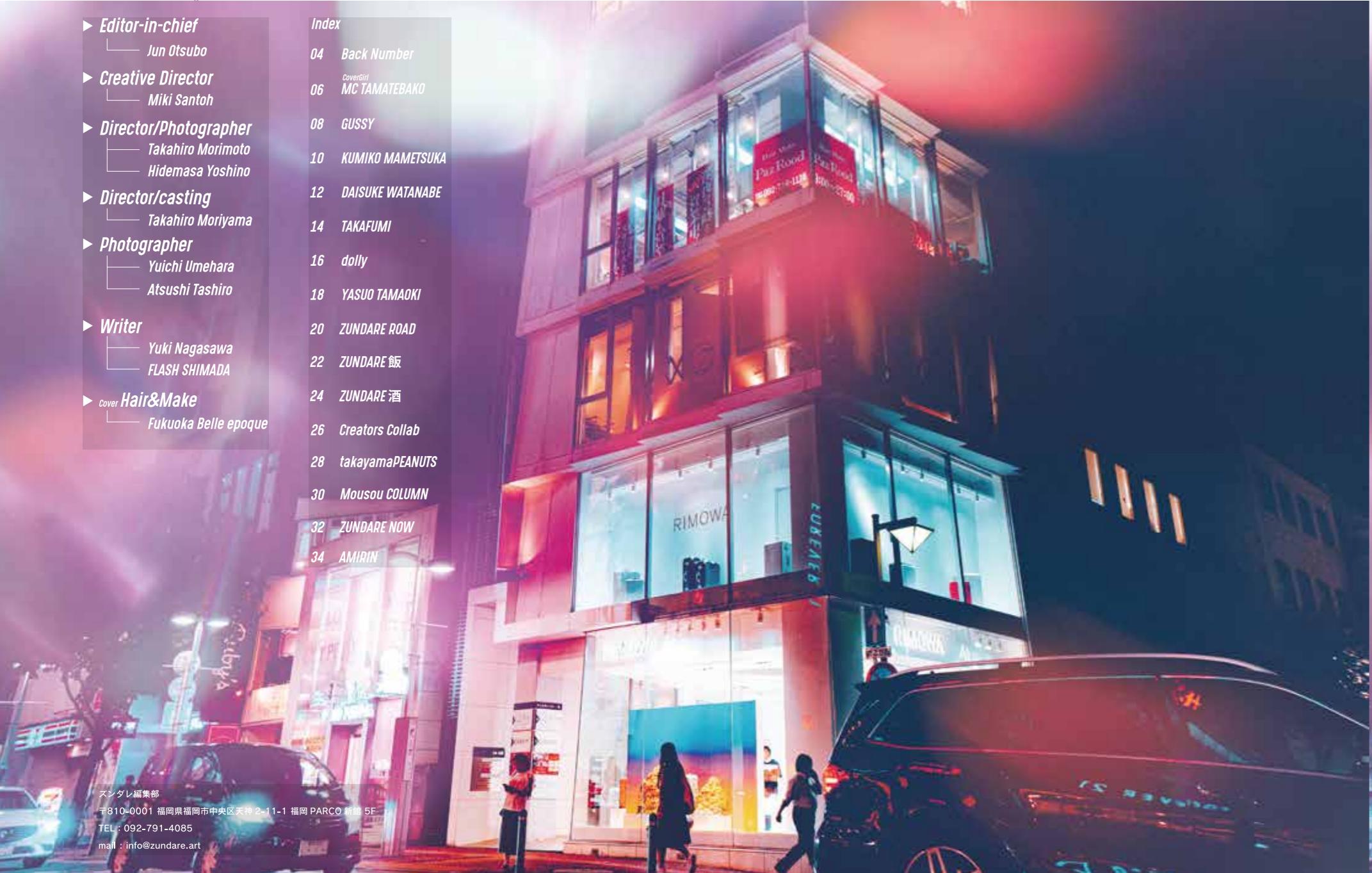
2020  
No.09

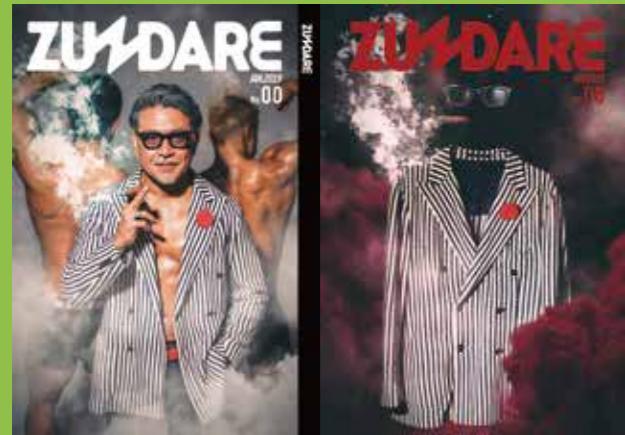


► Editor-in-chief	Jun Otsubo
► Creative Director	Miki Santoh
► Director/Photographer	Takahiro Morimoto Hidemasa Yoshino
► Director/casting	Takahiro Moriyama
► Photographer	Yuichi Umebara Atsushi Tashiro
► Writer	Yuki Nagasawa FLASH SHIMADA
► Cover Hair&Make	Fukuoka Belle epoque

Index
04 Back Number
06 <i>CoverGirl</i> MC TAMATEBAKO
08 GUSSY
10 KUMIKO MAMETSUKA
12 DAISUKE WATANABE
14 TAKAFUMI
16 dolly
18 YASUO TAMAOKI
20 ZUNDARE ROAD
22 ZUNDARE 飯
24 ZUNDARE 酒
26 Creators Collab
28 takayamaPEANUTS
30 Mousou COLUMN
32 ZUNDARE NOW
34 AMIRIN

ズンダレ編集部  
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 2-11-1 福岡 PARCO 新館 5F  
TEL : 092-791-4085  
mail : info@zundare.art





00号 2018.12.28



01号 2019.2.28



06号 2019.7.28



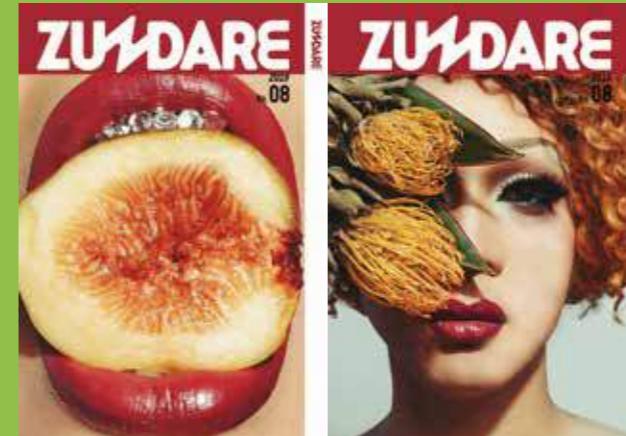
07号 2019.8.28



02号 2019.3.28



03号 2019.4.28



08号 2019.9.28



back number



04号 2019.5.28



05号 2019.6.28



ZUNDAREが1周年を迎えました

1年間ZUNDAREをサポートしてくださった皆さま、いつも応援ありがとうございます。この1年で福岡に関わる魅力溢れる方々との出会いがたくさんありました。福岡には知られざる面白い人たちがまだまだ潜んでいます。彼らの隠れた魅力を、そして、どこかずんだれた姿をお見せするのがZUNDAREの使命です。

2年目に突入した今回からは、そんな個性豊かな人物同士の化学反応を楽しめる、よりパワーアップした“新生ZUNDARE”がスタートしました。

更に、ZUNDAREを作るスタッフの存在、ZUNDAREの裏側も知って頂けると思います。

ZUNDAREは僕たちスタッフだけではなく、福岡の人たちと一緒に作り上げていく作品だと思っていますので、皆さんと共にZUNDAREを、福岡という街をもっと盛り上げて行ければ幸いです。

Editor-in-chief Jun Otsubo

## MC玉手箱

コメディアン/ラッパー

2020年1月で90歳。バナナの叩き売りや南京玉すだれ  
ラップといった幅広い芸で人々を魅了する。

ルイヴィトンだろうがコシノヒロコだろうが、  
自分らしく着るためにカットしてアレンジ  
してしまう玉手箱さん。  
撮影では、派手色のバッグ2つパンパンに  
服や小物を持ってきてくれた。  
オレンジ色のコートのポケットからは  
ジュエリーが出てくる出てくる。  
黄色いサングラスがお気に召したようで、  
手に取るなりあえて逆さまにかけ始める。  
彼女のファッションに対する発想は無限大。



いくつになつても夢を持たなきや

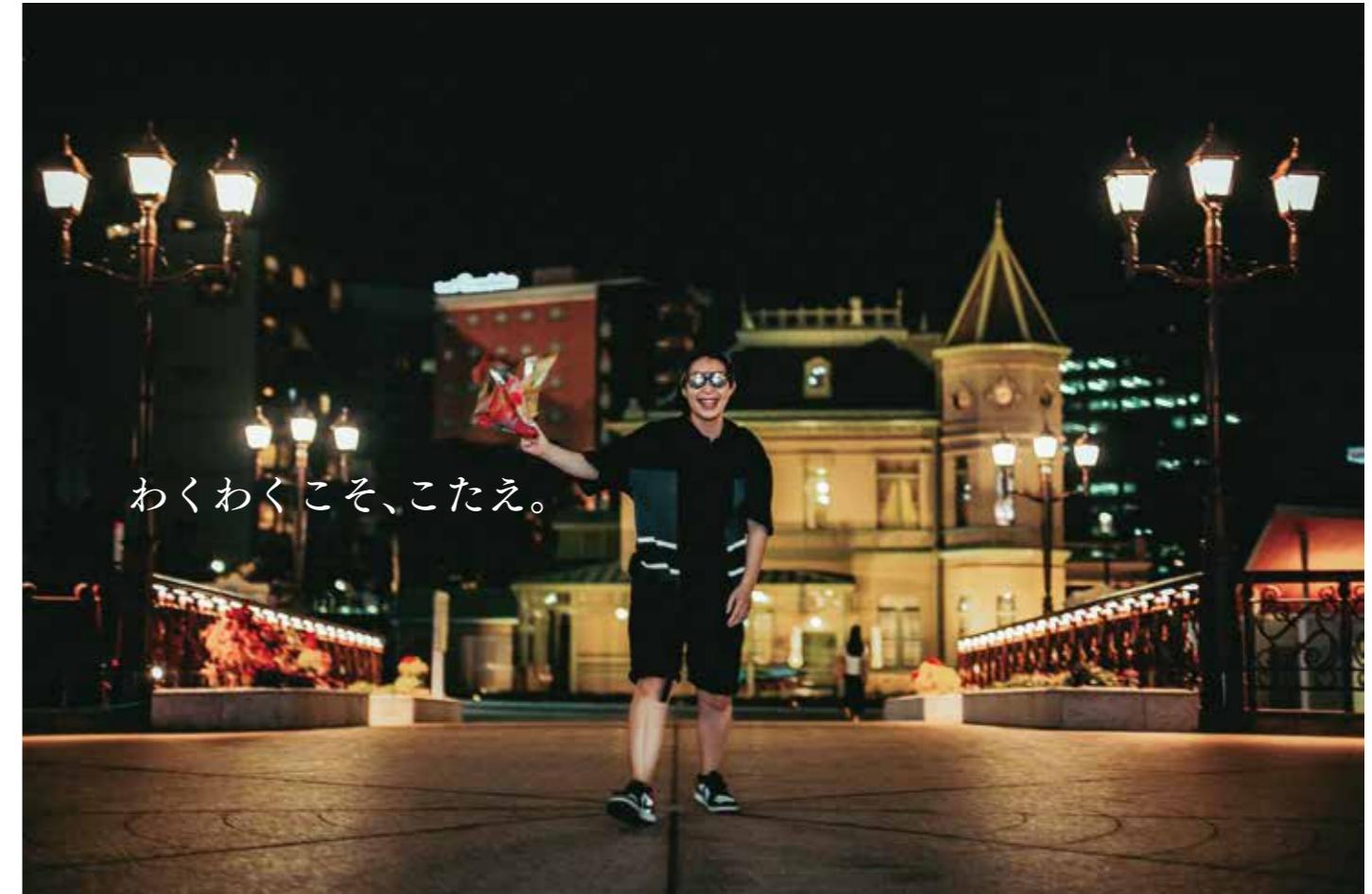
ジュエリーは自分を守ってくれるものを選ぶの。琥珀のネックレス「チャーリー・アンバー」がいつもわたしを守ってくれる。  
ステージに立つとき身に付けていると不思議と気持ちが落ち着く。  
それから、女性は左手の小指から福が入ってくるのよ。  
ここに大切なジュエリーをつければ小銭にはきっと困らないわ。

若いときは文句ばかりだった。  
女学校に通い、女子寮で生活し、卒業後はお見合い結婚。3人の男の子を育て、やがて彼らも親元を離れていった。  
淡々と過ぎていった日々、周りから守られてきたのは確かだけど、どこか面白くなくて、死んだほうがマシだと思っていた頃もある。  
70歳近くなつて、そんな自分を哀れに思うようになり、自分で何か楽しみを見つけてないと、外の世界を見学に行った。  
そこで生まれて初めて出会ったのが大道芸。ラップの心地よいリズム感、人前で声を出すという経験、全てが新世界で楽しい。今が人生最高の瞬間。



GUSSY | CEO, DESIGNER, ARTIST  
Instagram @metropolitancrossbottle

カッコよくサングラスを拭きたい



今日もわくわくで起きました！  
人生わくわくすることだけを選んで生きてきた。  
嫌なことからいかに楽しく逃げ、わくわくに変えられるかが勝負。  
ぶっ飛ばすほど助けてくれる人がいるから、  
やりたいことをぶちかます。

Aサヒ、Kリン、Sントリー、Sッポロ、GUSSY  
お酒とともに人生がある。お酒は料理と会話を盛り上げてくれる、  
最高の相棒！人生の最後は、GUSSYというビールを作って  
人々の人生を潤したい。  
最近は自分でお酒を作り始めた。  
GUSSYがいつか有名メーカーに並ぶ存在になるだろう。



Hexagon artist  
KUMIKO MAMETSUKA

HP kumikomametsuka.com  
Instagram @hexagonartist  
Twitter @Hexagonartist

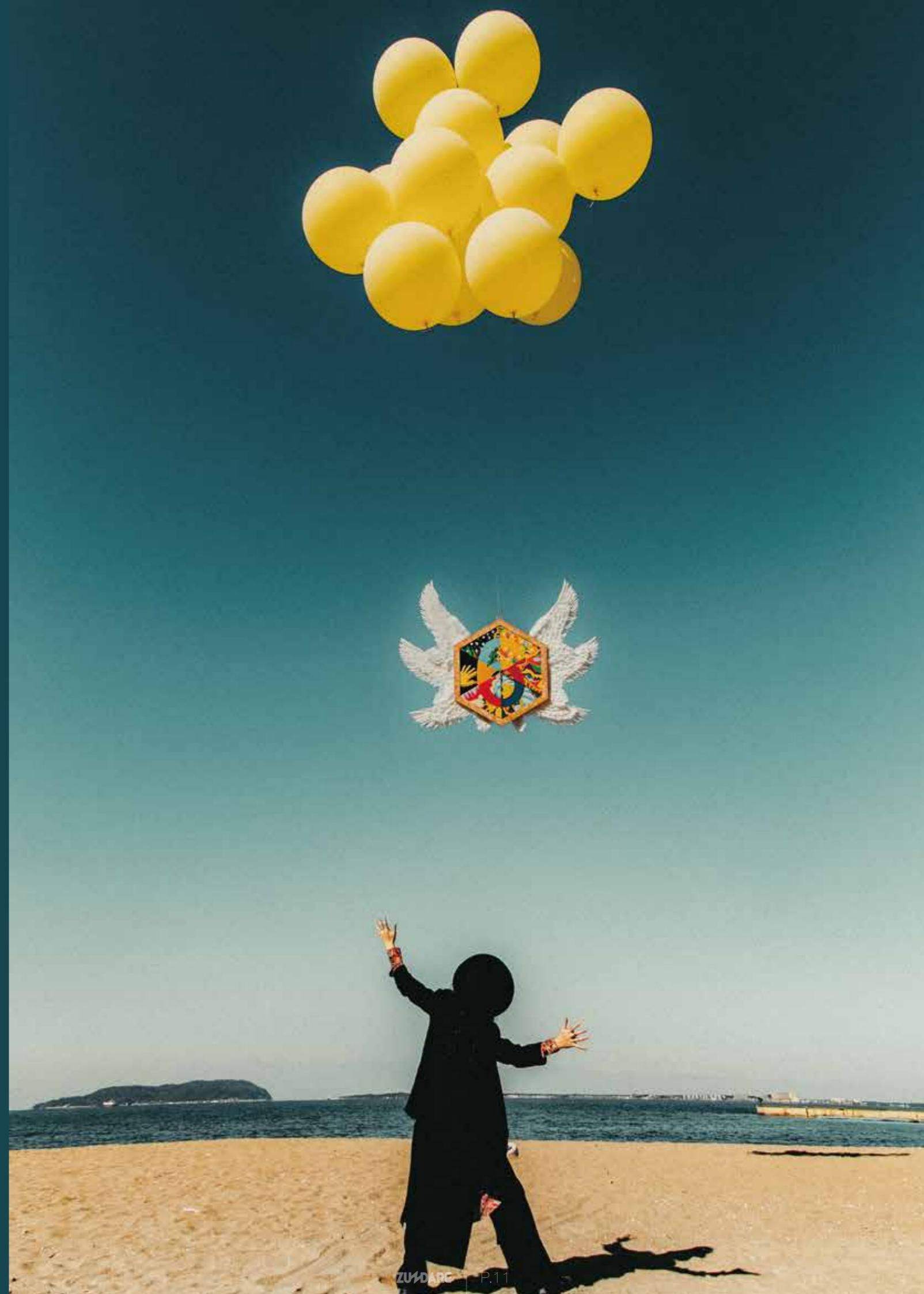


あなたの「raison d'être」(存在意義) 無いわけないから、思い出して

六角形と数字のアートは彼女が啓示を受けて辿り着いたアートだと言う。  
Hexagonという形には、宇宙の奥底、太古大昔からのパワーと意味が込められる。  
数字はただ単位や金額、広さ、個数といった、何かを表すための記号ではない。

全て異なる感性を持つ数字を、独特の色彩感覚を持って本能のままに描き続ける。

愛する人と歓談したり、最愛の人の細胞の匂いを嗅ぎながら眠りに就く。  
愛する人がいること、応援してくれる人がいることが何より幸せ。  
当たり前の日常と太陽の光に感謝が止まらない。  
この全てを全身と魂で感じ、ビリビリと周波数を集めてわたしは生きている。





## 渡辺 大輔

福岡と香港を繋ぐ架け橋となる仕掛け人

形が作られた瞬間から崩壊が始まる  
カオスに携わることが何より楽しい



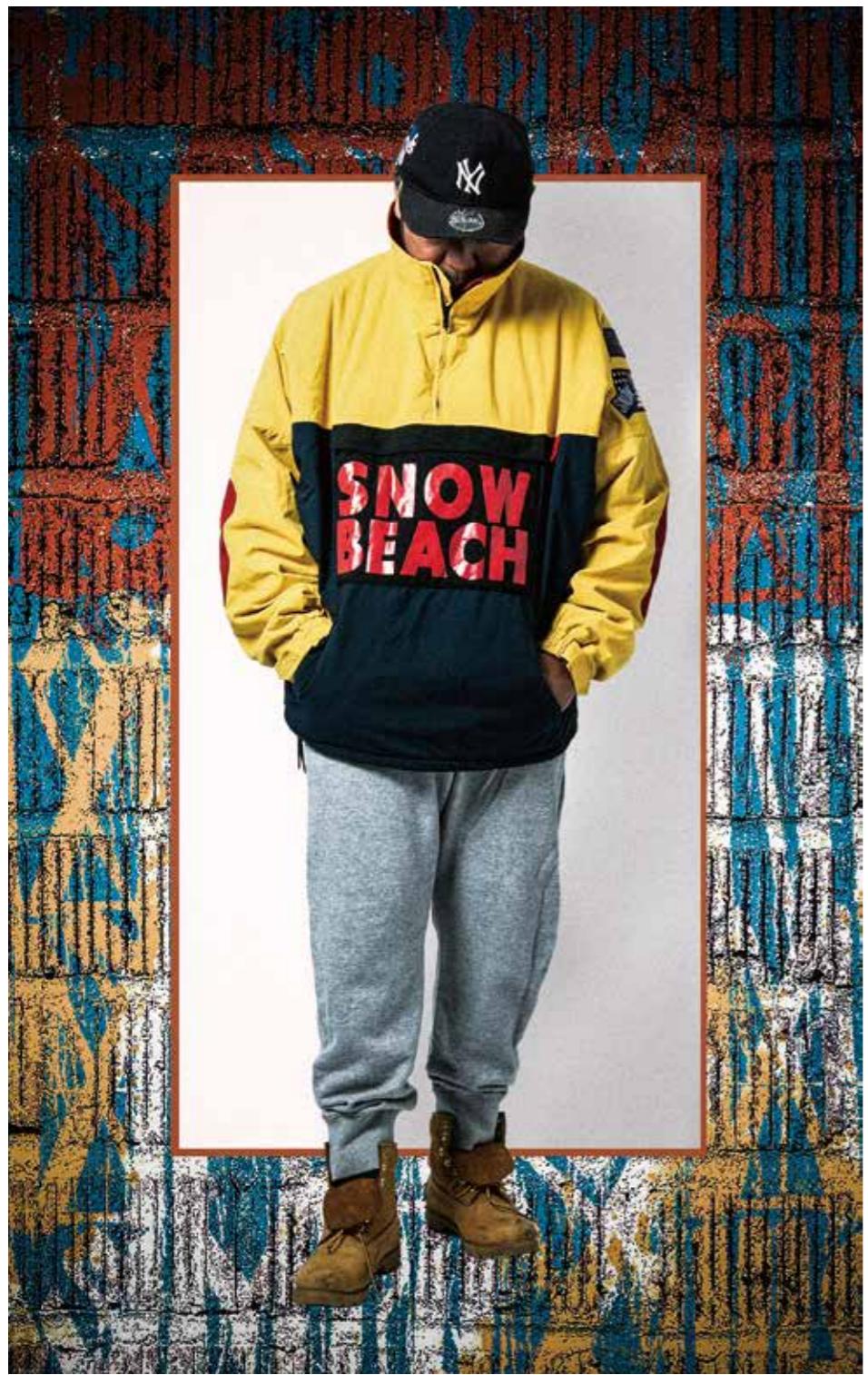
宮崎大学大学院修了後、  
福岡県庁に水産職として入庁した渡辺さん。  
仕事には惜しみなく力を注ぐものの、  
金髪で出勤する等、県庁の枠組みを超えた存在感に周囲からは  
浮いていたという。  
次第に、中にいてはできないことがたくさんあることを感じ、  
外に飛び出していくことに。  
8年前に香港に渡り、恵比寿牡蠣や企業の海外展開をサポートする  
など、ビジネスマッチングを行う仕掛け人。



グローバル人材になりたいとは思わない。  
福岡の人間だから福岡のことに関わっていたら、たまたま出口  
が海外、香港だっただけ。福岡と香港、どちらにも僕の立ち位置  
がある。

僕等は考えるか行動するかの2つしかできない  
好奇心の赴くままに動け

どこに流れ着くかわからない。  
日々目の前に現れる困った人をサポートすることの繰り返し。  
目の前に流れる大河のような社会を堰き止める気はない。  
僕はただその流れに乗るだけ。



## TAKAFUMI

(NEW YELLOW/CLAP PAJHA)

DANCER

Style flavor Dance Center インストラクター

福岡を拠点に、長年のDANCE経験を生かし、九州ならではのHIPHOP、ハウス、ダンススタイルを築き上げるTAKAFUMIさん。全国各地での数々のイベントでのゲスト出演、ダンスコンテストやソロバトルなどでも活躍。近年では、WORLD DANCE COLOSSEUMで日本大会準優勝、世界大会進出。九州最大のソロバトルイベントCARNIVALのHOUSE SIDEで2年連続グランドチャンピオンに輝く。アーティストの振付も務め、キッズダンスチームを幾度となく全国大会へ導くなど、コレオグラファーとしても名高い。

ダンサーのファッションは時代により移りゆく。その年代にあった様々な出来事から自然と発生する、その時に感じた「カッコイイ」、それがアウトプットされるのがファッション。

後から見れば懐かしいでしかない、変わりゆくものが服なので、今が今である自分を表してくれる。よりカッコよく有りたいという共通項の楽しさ。

danceもファッションも自分自身の満足感である。本当に好きなものを表現した、その人の最終形態である。

だからこそ、偽物を着ることはできないし、そこからカルチャーを感じてからしか良いdanceにならない。

人は、本気でやってる本物に感動し、心が動いて、明日も頑張ろうと思えるもの。

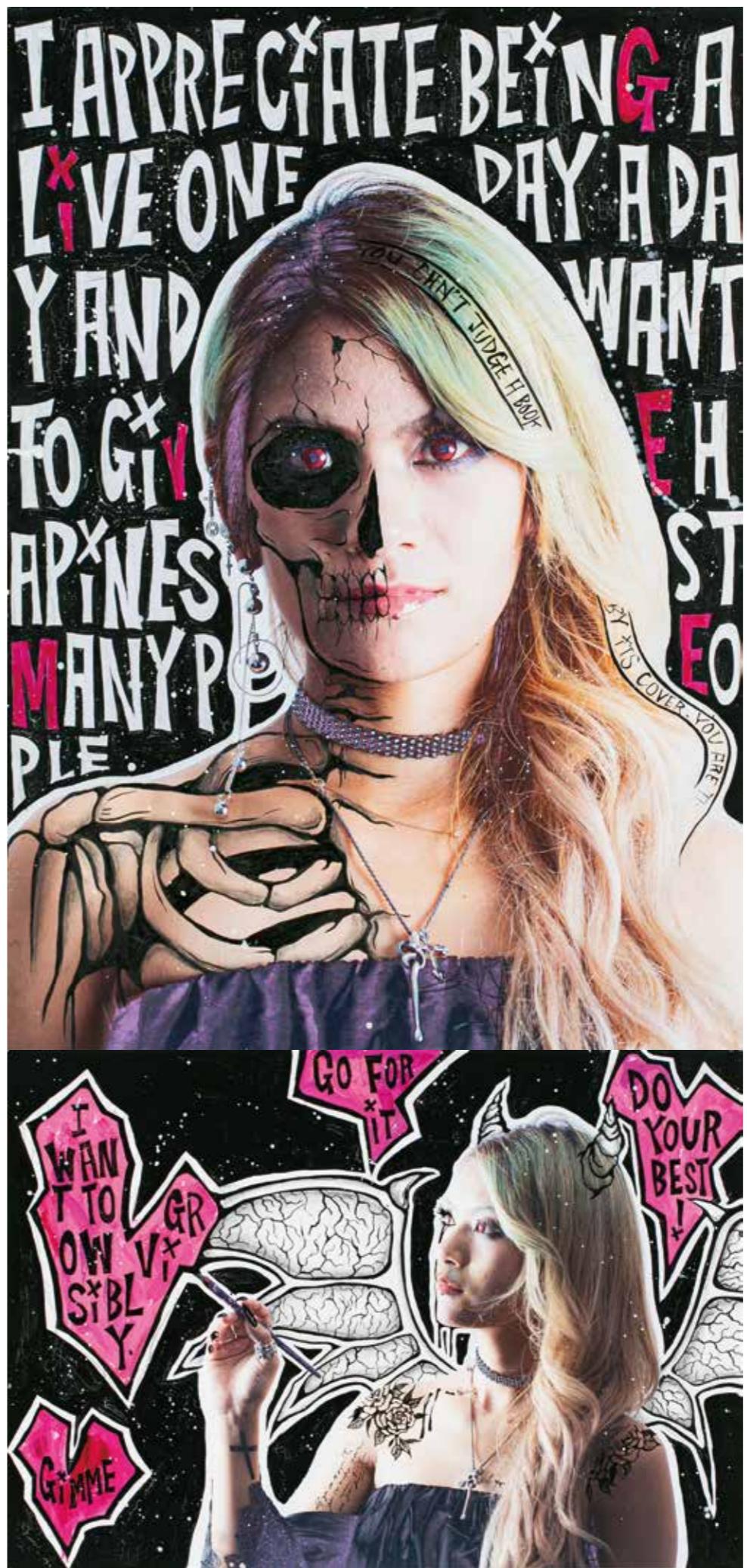
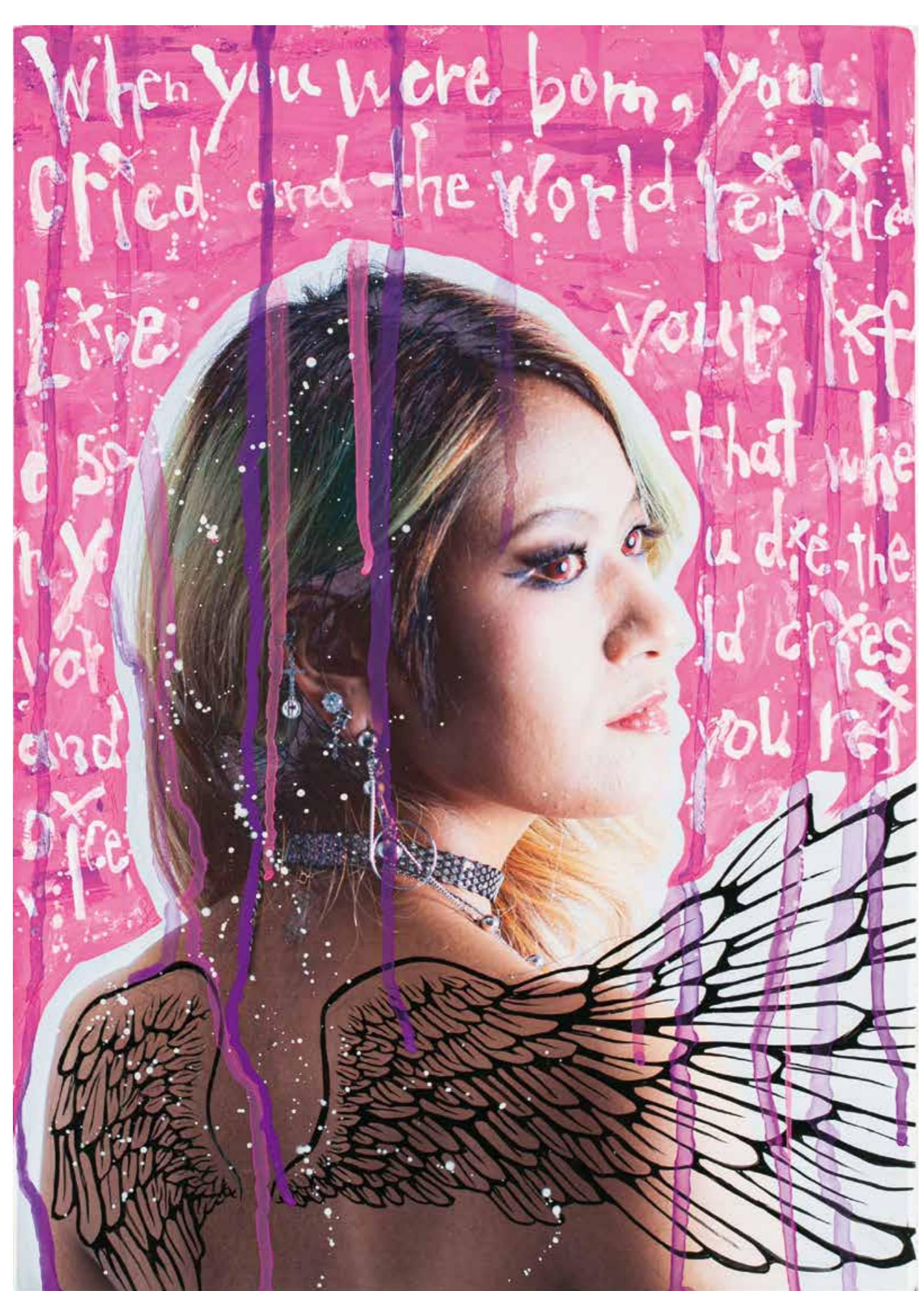
これから新しいことや好きなことに挑戦していく若者たちへ。

僕のじいちゃんが言ってました。

心の底から「ありがとう」と「ごめんなさい」が言えれば、人は幸せに生きて行ける。

皆さん、一人ひとり、他人の良いところを見つけて、最初は真似して真似して、最後に自分オリジナルになってください。





dolly ペインター  
Instagram @dollyhiii

彼女の描く作品はスカルやデビルをモチーフにしたもの等、一見ちょっと恐怖を感じる。しかし、そこには実はポジティブな想いが込められている。半面スカル、半面人間を描いた作品には、人々誰しもが持っているであろう表の姿と自分の中だけに大切に秘められた姿の二面性を表現しているという。

ファッション、アート、音楽の全てに関わる人生を

以前自分が憧れのアーティストに受けたような爪痕を今度は自分が残せる存在に… いつまでも表現者として生きていきたい。

去るもの追わず。夢を語ると、絶対できるわけないって否定してきた人も沢山いるけど、逆にそう言われてきたことが原動力にもなっている気がする。絶対やってやるからな、見とけよって。

信じる気持ち、  
言霊や発信し続けることを大切に

自分自身のスキルアップに努める事は  
もちろんですが、叶えたい事を言葉にして  
いくと、引き寄せてくる力になる。  
今まで以上に上を上と見る事を意識し、  
目指したい事を実際にやって、尊敬する  
方々に感謝しながら、超える勢いでいきたい。



# Hakata to France!

うどん酒場の  
伝道師。

博多発・フランス行き。

玉置康雄

『二〇加屋長介・釜喜利うどん』代表

「こないだ出来たそこの店、  
むっちゃ旨いってもう噂になつとつて  
来週にはもう予約取れんくなるってばい!!」

“そこの店”とは、今や東京にも店舗展開する  
博多の『うどん居酒屋』の顔、“長さん”こと玉置康雄氏が  
初めて旗揚げた一号店『二〇加屋長介』のこと。

開店当初は薬院の町外れ、それも裏通りという立地もあり  
客足まばらの日々が続いていたという。

そこで長さん、なんとも涙ぐましい暴挙に出た。  
通行人が横切るとガランガランの店を自ら飛び出し、  
その後追いかけながら未発信の携帯に向かい  
大声で「何か、そこの店がキているらしい!!」  
という架空のPR活動を地道に行い続け、  
少しづづ、少しづづ客を掴んでいったという。

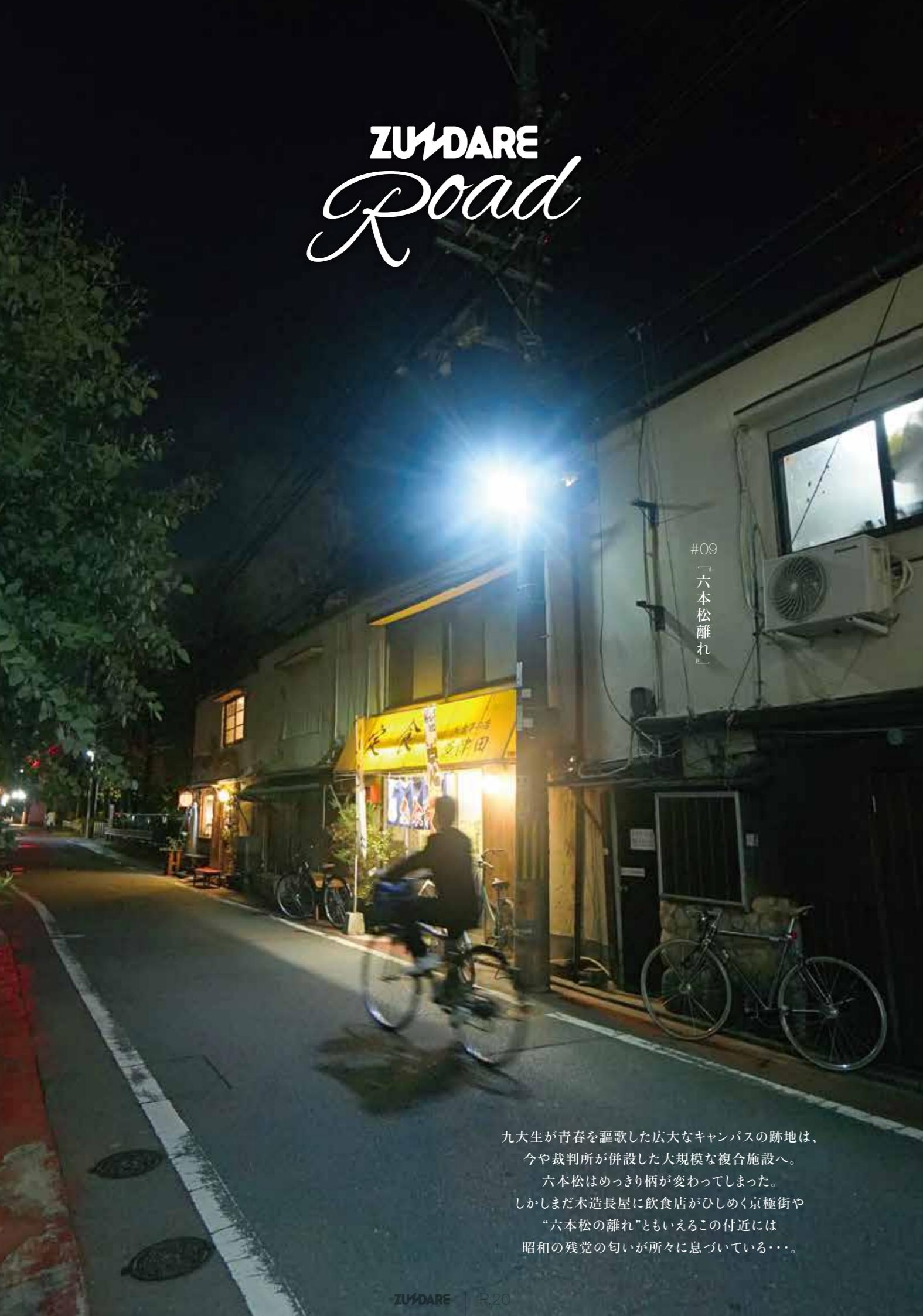
赤坂に『釜喜利うどん』、博多駅の『三百歩横丁』、  
そして東京は『中目黒』『大手町』にも進出。

博多発“大衆うどん酒場”を  
雄々しく展開してきたその根底には、  
こんな泥水を飲んでも夢描く“商いの道”へ邁進する、  
純然なる雑草スピリッツが宿っているのだ。

そしてその魂はついに海を超えて春、  
フランスはパリの中心街へ。  
博多を代表し“うどん酒場”というスタイルで  
どこまでパリジェンヌたちを魅了できるか?  
来年はハカタ、いやニッポンの誇る“うどん文明”を  
世界に広めるターニングポイントになるだろう。



# ZUNDARE Road



九大生が青春を謳歌した広大なキャンパスの跡地は、  
今や裁判所が併設した大規模な複合施設へ。  
六本松はめっきり柄が変わってしまった。  
しかしそだ木造長屋に飲食店がひしめく京極街や  
“六本松の離れ”ともいえるこの付近には  
昭和の残党の匂いが所々に息づいている…。



“せつちゃん”なら節子ちゃん、  
“まさや”なら政志さん。  
店主の名前はたいてい  
店名から察つせれるものだ。  
さて。六本松の離れの  
ここ梅光園に佇む  
“どくや”とは…。

その大将の名は前田高徳、生粋の能古島生まれの福岡育ちだ。なるほど高徳の高からきた「とくさん、ないや、それが実は「たかのり」の「のり」を「とく」と読んで『とくや』なのだ。人の謂れは様々なもの。彼は生まれてこのかたこのニックネームで生きてきた証が店名に記されている次第。ジャックマイヨールに憧れて玄界灘を潛りながらも気がつけば陸に上がって陸上部。20代は鍛えたその快活量を活かし配管工へ。バーテンダーになるつもりがいつの間にやら大名時代の沖縄料理屋『58 GOIYA(ゴーヤ)』を経てこの地で居酒屋の大将となった。バブルはじけて飛んで、数十年。多感な時期をやんちゃな瞳で見続けて六本松に店を構え、令和元年の今年で早10年目を迎えた。

九大六本松キャンバスが移転し、町は華やかになった反面、学生が居なくなり昔から続いた人情ある定食屋なども次々と息絶え、学生街特有の活気はなくなってしまったこの街。予想以上の浮世の流れを嗜み縮めながらも、こうして地元の常連客に支えられている。いや、ここ六本松にとどまらず、青春を福岡とともに生きてきた証は、店内に並ぶキープトルの白マジックに刻まれている。

能古島産の『万葉牡蠣』に、鍋の〆にはつるつるの『能古うどん』。そして芽吹きピーナッツの唐揚げがあれば尚よろし。さあ、福のシマンチュウ・とくさんが腕をふるう地の利を活かしたメニューを味わうにはもってこいの季節になってきた。昭和男・我流の居酒屋は、健在である。



薩摩地鶏のお鍋から  
能古産・万葉焼き牡蠣に  
能古産・芽吹きピーナッツ、  
今宵は島味ハシゴ酒。





2019.11.22 (TRI) 22:00-24:00  
BEAUJOLAIS NOUVEAU JAZZ NIGHT  
DJ: SANTA, CHIN, SPRING  
11.23. (CD)  
BEAUJOLAIS NOUVEAU DISCO NIGHT  
GUESTS: TR (SYNTHESIZE), TAKE, KASE, NOMATA

坂本 研一 free lance planner,  
disc jockey,  
◎ konitang888

あの娘ぼくがカルアミルク卒業したら  
どんな顔するんだろう

こにたん  
カルアミルクにカシスオレンジ、  
はたまたスクリュードライバー……。  
響きだけで、格好だけで飲んでたあの頃。  
いやあ、若さですよね。やっぱり。  
20代の飲み方ってのは。  
そんな僕を(格好だけではない)  
ワインの世界へ誘ってくれたのが、  
このマスター・野俣さんです。  
思えば「KINOSHITA」から  
「BON JOCKEY!」を経てこの「NOMATA」。  
酒師匠・音師匠のいるカウンターで  
こだわりの日常ナチュールを気軽に嗜む……。  
最高の贅沢じゃないですか。  
自然体の僕に、自然体の葡萄酒。  
え? このスーツ? ごめんなさい。  
撮影っていうから、頑張っちゃいましたw。  
まあ、人生はパーティじゃないですか。  
年末年始もここで廻しますよ、J-POPを。  
素顔の僕を見に来てください。あれやったら。

そう呟いて、最後の一口をグイッといった。  
刈り上げたての彼の襟足には  
ぱっこりカワイイ肉団子ができていた……。  
そう、これこそが  
こにたんの格好なのだ。

NOMATA  
◎ nomata\_bar  
福岡市中央区薬院2-17-26  
JUNビル2F(元ソワレ跡地)  
tel:080-3953-3537  
営業時間  
月-土 20:00-2:00  
定休日:日曜



#### WOK22

名古屋出身福岡在住のアーティスト。

雲や蝶の足のモチーフを描き、ポップでダークな部分表現する。これまでに suchmos 写真へのペインティングや台湾屏東市壁画、STUSSY、ALLblacks x adidas x artcreators、ONE PIECEへのグラフィック提供。様々な企業やブランドとのコラボレートワークを展開。現在は、韓国やマニラでの企画展示を進めている。

#### 山藤美樹

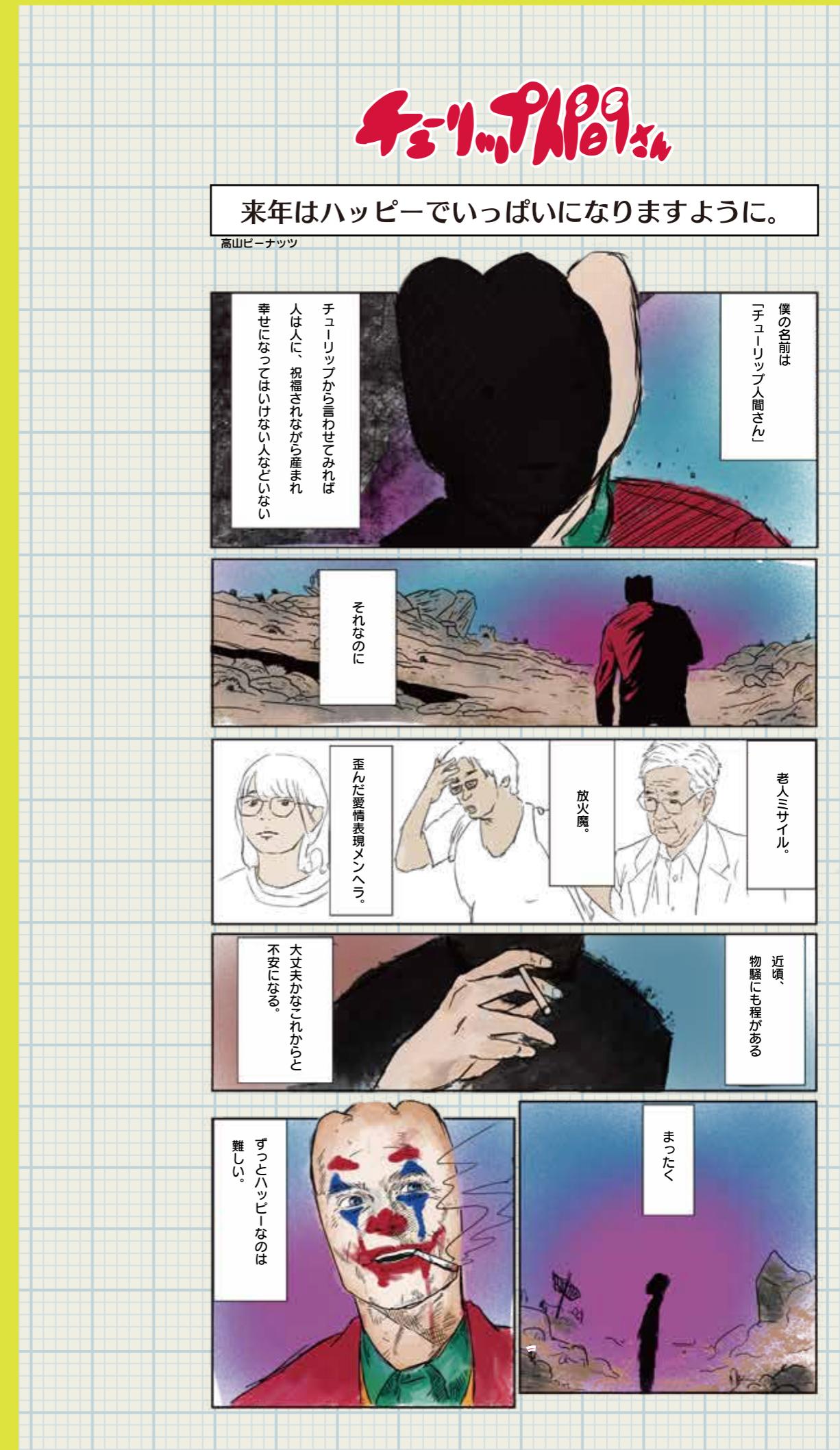
福岡出身福岡在住、スタイリスト兼アートディレクター。2010年より現在ビジュアルワークを手がける「chikuski」にエディターとして入社。

その後上京し、蜷川実花が編集長を務める「Mgirl」や世界的クリエイティブジャーナル誌「Quotation」「Quotation fashion issue」等のエディターを経た後、「chikuski」のリニューアル発行を機にカバーディレクションを手がける。雑誌「zundare magazine」のカバービジュアルも担当。

モデル: ARISA NISHIGAKI (ぱってん少女隊)

衣装: 菓産業 (@aoi\_industry)

MIKI SANTOH × ARTIST from Fukuoka 『Collaboration Visual Works』First guest : WOK22 (IG @wok22)





これは、過去にZUNDAREに登場した人々が誌の世界に迷い込むスタッフによる  
勝手な妄想の物語である※物語はフィクションです。実在の人物や団体とは一切関係ありません。

# FUNNY HOUSE #01 MAGIC

12月28日

byえれむ

## KOHARU

寮の門限は12時だ。4月から通い始めた大学は全寮制。  
こはるは学費を稼ぐために講義が終われば  
ほとんど毎日のようにアルバイトに明け暮れた。おかげで学力は最悪だ。  
3日前に冬休みに入ったというのに、追加で課せられた  
課題とアルバイトだけの休暇になるなんて。  
バイト先のバーは常連客が多いが、その日は一度も見たことがない女性が訪れた。  
黒いロングコートに細身のスキニー、パンプスまで全部真っ黒。  
長い髪に赤いリップがまるで魔女みたいだったなと思い出して笑った。  
11時40分を過ぎた。寮までの暗い道のりを急ぐが、坂道がちょっときつい。  
目の前を猫が横切る。暗闇の中でそれは青い光を放つように見えた。  
いつもと変わらないこの道…のはずだった。  
寮がない、大学がない、帰りにいつも寄るコンビニも見当たらない。



## NANAKO



カリフォルニア州の古い建物が残るオールドサクラメントにある「Candy Heaven」。  
店中にカラフルなキャンディが積み上がったここはその名の通り天国だ。  
クリスマスに子どもたちに渡すプレゼントを選ぼうとキャンディに手を伸ばす。  
突然、後ろから肩を叩かれ、振り向くとはっきりとした顔立ちで  
色黒の髪が長い男性が立っている。手に持っているのはクロユリの花…?  
無言でこちらをじっと見つめられてちょっと寒気がした。  
彼は何か言葉を発しているが、それが、私が知っている言語でないことはわかった。  
何か呪文を唱えているようにも聞こえる。恐怖に後ずさりすれば一步一歩近づいてくる。  
後ろにはキャンディの山。逃げられない。

## TAKAHIRO

高校を卒業して一度は就職した。建築士の父を持つ僕は、この家に生まれたときから  
建築関係の仕事に就くことが決まっていたし、疑問にも思わなかった。  
他にやりたいこともなかったんだ。  
何の思い入れもない仕事を毎日続けることに違和感を感じ始めたのはいつからだっただろう。  
2週間前に仕事を辞めてからは毎日昼過ぎに起きてはカーテンも開けない  
この部屋でポテトチップス片手にゲームに明け暮れる。  
好きなことだけできるこの時間は、きっと幸せだと思っていたのに、そうでもなかった。  
とにかく、今は次のステージをクリアすることだけに集中しよう。ボタンを連打する。  
ん? このゲームにウサギなんて出てきたっけ。  
あれ…何だか眩しい。

To be continue

答

嘘をつかない

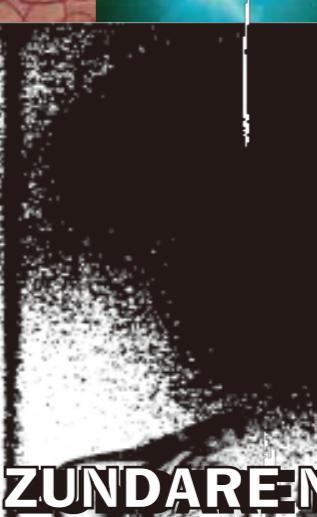
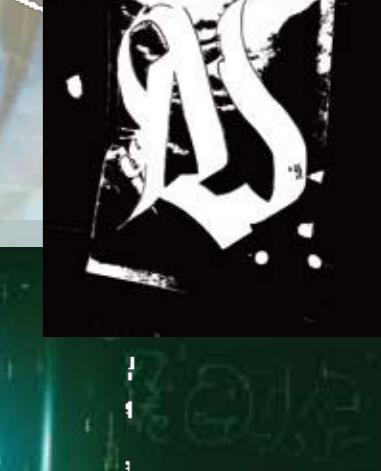
Q. いつまで遊びたい?

人の悪口を言わない

良いところは  
素直に認める



NE



ZUNDARE NOW @nyke\_fk



エレガントプロモーションに所属する九州発のアイドルユニットQunQunのバーチャル版として、5人組VRアイドルユニットQunQunVRが誕生する。QunQunと同じ衣装を身に纏い、ステージで歌って踊る、リアルとバーチャルが融合した、これまでになかったアイドルの形を展開していく。スマホのアプリを使って、リアルの世界にメンバーがいるかのような写真を撮ることができる等、楽しみ方は今後まだまだ広がっていくだろう。

12月29日(日)~開催されるSHOWROOMエキシビションイベントにてQunQunVRのメンバーが決定する。

# あみりん

QunQunVRアンバサダー  
Twitter @QunQunVR

QunQunVR



彼女たちの活動を盛り上げるべくアンバサダーとして活躍するのがあみりん。  
ピンクの髪と地球みたいな青色のキラキラした目がチャームポイント。

し、私生活…？それは一体どういうことですか？汗

QunQunのメンバーである宮本あみちゃんと大親友で、ファンの方々からは声が似ていると言われています。仲良しだと声まで似ちゃうのかな(汗)。今年9周年を迎えるQunQunは大先輩なので、先輩たちの背中を追って、それを超えられるようにQunQunVRも頑張って行きます。これからQunQunとQunQunVRがもっと仲良くなれたら良いなと思っているので、そこを繋ぐのもあみりんのお仕事かな。



2020

No.09

